

石巻支部ニュース

令和7年2月発行

支部長挨拶

会員の皆様

日頃より支部活動についてご理解ご協力を賜りありがとうございます。
能登半島地震では災害支援ナースの派遣があり、被災地で活動された方、派遣にご協力いただいた管理者の皆様には深く感謝申し上げます。

昨年は診療報酬改定があり、どの施設でも身体拘束低減などの対応に苦慮されたことと存じます。また支部の研修会では、今までにないほど多くの方が参加してくださいました。

今年の干支は乙巳（きのとみ）、成長の兆しを表す「木の陰（乙）」と発展や転換を象徴する「火の陽（巳）」組合わされる年。そのことから、2025は変化と新たな挑戦のエネルギーが高まる年とされています。

皆様は今年、どんな挑戦を考えていますか？

充実した素敵な1年になりますように。

石巻支部長 花淵栄子

マタニティフェスタ（令和6年9月）

初参加しました。518名の妊婦さんや育児中のご家族が参加され、とても賑わいのあるイベントとなりました。看護協会のブースでも赤ちゃん人形の抱っこ体験や、子供の白衣体験を通してたくさんの方々と楽しい時間を過ごさせていただきました。地域に様々なサポートがあることや、看護師、助産師が身近な存在だということを感じて頂けるきっかけとなればうれしいです。今後も地域の方々が安心して楽しみながら出産、育児できるようお手伝いしていきたいと思います。



ひがしまつしま文化祭（令和6年10月）

10/19～20の2日間は、ひがしまつしま市民文化祭にまちの保健室で参加しました。血圧測定、握力測定を行いながら市民の方と談笑をしました。手洗い体験では、手洗い後どのくらい汚れが残っているかを一緒に確認し、子どもたちは汚れがうつしだされる様子を興味津々に見ていたことが印象的でした。またハロウィンも近いことから風船バルーンアートを作り、来ていただいた方々にプレゼントをしました。大人から子供まで皆さんにとっても喜んでいただき、市民とのかかわりを通して私たちも楽しい時間を過ごすことができました。



支部研修会 認知症患者への対応（令和6年11月）



転倒転落予防対策として、石巻赤十字病院 転倒転落予防推進チームの方の講義を受けました。印象的だったのは「誰でも転倒するのがあたりまえで、転倒転落に至る背景が複雑で多彩で確実に予測・回避することは極めて難しいものの一つ」である事。予測出来るリスクを把握して改善していく事が求められている。その為には多職種との連携をはかり対策を講じていくのが大切であると学ぶ機会となりました。